

第45週の発生動向 (2004/11/1~2004/11/7)

- 1 手足口病については、先週、上十三保健所管内で出されていた**警報**が解除されましたが、むつ保健所管内では引き続き**警報**が出されていることから、注意が必要です。
- 2 流行性耳下腺炎については、八戸保健所管内で報告数が増えており注意が必要です。(八戸:先週9人 今週20人)

第45週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															
(60) 咽頭結膜熱							1	0.20					1	0.02	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	18	1.80	8	0.89			9	1.50			43	1.02	13
(62) 感染性胃腸炎	18	2.25	6	0.60	12	1.33	1	0.20	4	0.67	9	2.25	50	1.19	-8
(63) 水痘	4	0.50	16	1.60	7	0.78	4	0.80	11	1.83	13	3.25	55	1.31	4
(64) 手足口病			2	0.20	16	1.78	3	0.60	4	0.67	12	3.00	37	0.88	-47
(65) 伝染性紅斑	1	0.13	2	0.20									3	0.07	-1
(66) 突発性発疹	4	0.50	6	0.60	3	0.33			6	1.00	3	0.75	22	0.52	-5
(67) 百日咳															
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25			1	0.11							3	0.07	-7
(70) 麻しん(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.38	1	0.10	20	2.22	4	0.80	3	0.50	2	0.50	33	0.79	15
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎					1	0.50	2	2.00					3	0.27	1

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

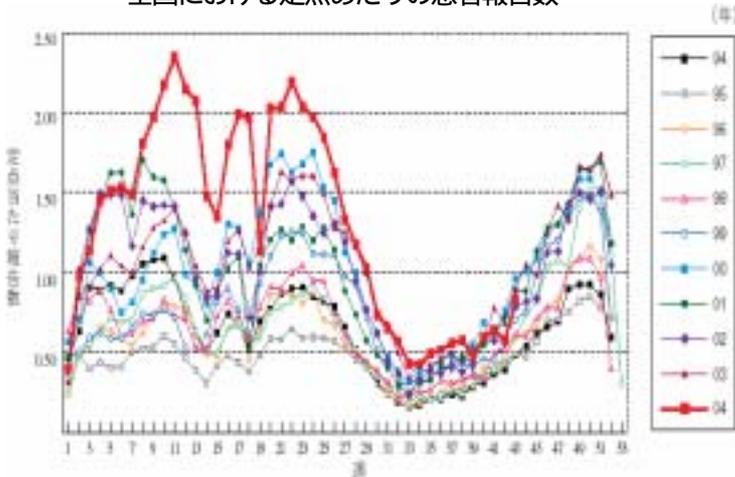
表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (56) 破傷風(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (16年計 2人)
- (59) RSウイルス感染症(五類定点把握疾患) 弘前保健所管内: 5人 (16年計 69人)
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (16年計 95人)

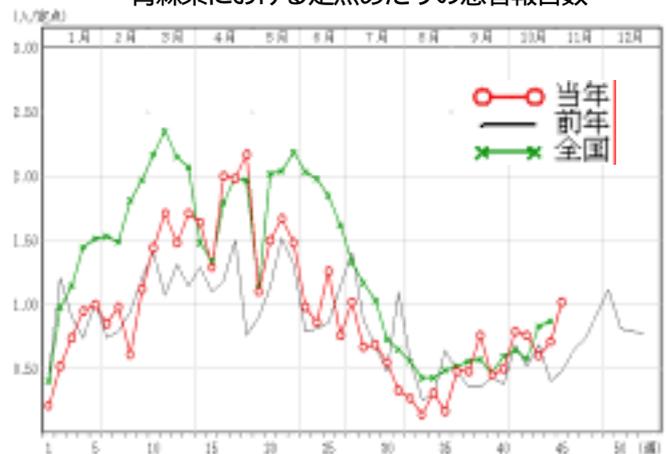
感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

全国における定点あたりの患者報告数



青森県における定点あたりの患者報告数



- ・ 例年、冬から初夏にかけて報告数が多く、その後はいったん減少するものの、秋から冬にかけて再び増加する傾向にあります。左記グラフによると、全国的に今年は過去10年に比べ、報告数が多い値で推移してきています。本県においては現在、警報等は出されていませんが、例年寒くなるにつれ報告数が多くなることから注意が必要です。

「右グラフ: 国立感染症研究所、感染症情報センター平成16年週報第43週より転載」(感染症情報センター <http://idsc.nih.gov.jp/idwr/pdf-j.html>)